

## 東信森林管理署・長野協会の安全パトロール等に参加しました

8月21日（水）、東信森林管理署と長野協会（東北信支部）合同の安全パトロール及び技術・安全検討会が開催されましたが、これに林土連も参加しました。

安全パトロールは、まず軽井沢町長倉山国有林で柳沢建設(株)（代表取締役柳沢洋一氏）が施工中の千ヶ谷西沢2地域防災対策治山工事で、東信森林管理署7名、長野協会等26名が参加して実施しました。この現場は、8月に小噴火した活火山、浅間山の泥流対策として、国有林内に大型治山ダムを設置するものです。

はじめに、長野協会の木下 修会長と東信森林管理署の川口大二署長から挨拶があり、現場代理人から工事概要の説明を受けた後、分かれて現場点検を行いました。施工箇所は広くなだらかで施工条件にも恵まれていますが、整理整頓が行き届き、切り取り法面の保護、快適トイレの設置、ドローン写真の掲示、熱中症予防のWBGT計の設置など行き届いており、万が一の噴石対策のためにシェルターも設置されていました。

午後は、佐久市荒船山国有林で木下建工(株)（代表取締役木下 修氏）が延伸工事を実施している内山林業専用道新設ほか工事の現場点検を行いました。この現場は、標高が高く急勾配であり、土質条件が不良かつ伐採した支障木が散在する中での困難な工事と見受けられました。適正な利潤が確保されるためには効率的な施工が必要であり、安全確保に特段の努力が必要な厳しい現場でした。

その後、佐久市内の東信森林管理署に移動し、技術・安全検討会が開催されました。検討会では、木下会長と川口署長から代表して意見を述べていただいた後、本日実施した2箇所の点検結果を参加者がそれぞれ発表すると共に、技術・安全対策に関する意見交換を行いました。

労働安全に確保は、当協会でも最重要課題ですが、この3年間は当協会の会員は重大災害ゼロを継続しており、これは発注者の真摯なご指導と受注者の地道な取り組みのたまものであると受け止めています。

当日、ご指導ご協力をいただいた東信森林管理署と長野協会（東北信支部）の皆様方には改めて御礼を申し上げます。



安全パトロールの状実施況